

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルーム ライチ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個別支援計画作成に向けた面談以外に必要なに応じて利用児に関すること、またそれ以外に関する事で面談を実施している。	・面談の場面を設定する以外で送迎時等にも現状の情報共有したり、その時々での相談等を行っている。 ・高等部の利用児の保護者とは卒業後の進路に関する相談援助を行ったり、そこに向けて今現在何が必要か等話しを行っている。	・日頃から保護者との交流をしっかり持ち、信頼関係を構築できるよう努めていく。また小さなことでも気になることがあればすぐに相談等出来る体制を取り、支援に活かしていく。
2	○必要に応じて利用児の関係機関(相談支援専門員、他事業所、学校等)との連携を図っている。	・日々、サービス提供中の様子を見ながら必要に感じる都度連絡を取り合うよう努めている。状況に応じて支援会議が必要な場合は早々に実施できるよう発信を行っている。	・事業所同士の横の繋がりを増やしていき、スムーズな情報共有や支援方法の検討等行える形を作っていく。
3	○同社で放課後等デイサービスを3事業所運営しており、合同で活動・イベントを行うことが出来る。	・土曜日や祝日営業の際に合同でのイベント企画・実施を行っている。利用児それぞれが参加出来るよう、利用児に合わせた活動の調整も行っている。	・合同でのイベントの実施頻度はまだ少なく、今後実施する頻度を増やし、いろいろな人との交流や体験を提供していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域との交流機会の頻度が少なく、事業所内または同業他社との交流にとどまっている。	・障害福祉サービス事業所との交流はあるが、それ以外の部分でどのような交流がもてるか、イメージが持てていない。 ・事業所のある地域の町内会等との交流がない。	・障害福祉サービスとは関係のない児童館の利用やその他の施設を調べ、様々な人との交流の機会を持てるよう努めていきたい。
2	○家族支援や保護者間の交流の機会が少ない。	・今年度、家族参加のイベントを企画・実施しているが、全体としてどのような希望があるのかのニーズの把握ができていない。	・次年度にイベント等を企画する際は事前にどのような要望があるのかを調査し情報収集を行いながら進めていきたい。
3	○開所から10年以上経過しており、施設内で修繕が必要な箇所が増えてきている。	・経年劣化や不穏時の行動により破損している箇所(壁の穴等)あり、次年度以降に修繕予定。	・不穏時等に同様のことが起こらないよう、利用児に合わせた不穏時等の対応を検討、実施していくことが必要。